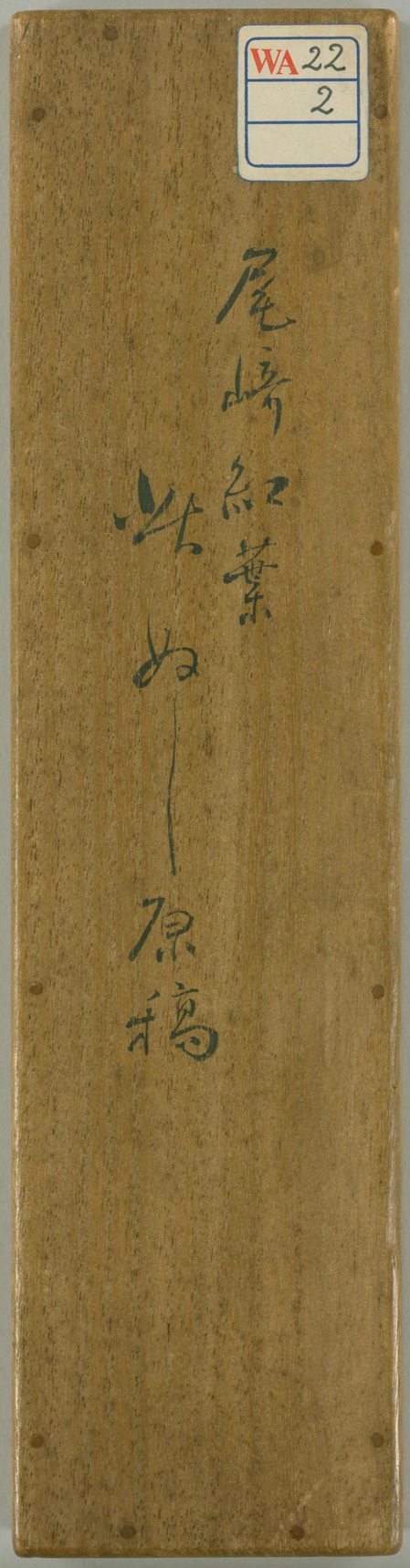
WA22
2



国立国会図書館　タイトル『此ぬし』　請求記号 WA22-2

国立国会図書館　　タイトル『此ぬし』　請求記号 WA22-2

WA 22
2

国立国会図書館　タイトル『此ぬし』 請求記号 WA22-2

紅葉先生 此ぬしの玉稿一巻謹て

貴 7
96

国立国会図書館　タイトル『此ぬし』 請求記号 WA22-2

紅葉先生　比ぬしの玉稿一巻謹て
賛えいし侍候て障子紙に御認めの趣
あひつたへ候がさはふくて其の処くに
継ぎたるを恐く御つかひすりし事
まのあたり相わかり申候さて拝に此の
一節は左ゞ六月七日ばかりにて成就
遊ばし候よし承りおよびかしす処あり
ふまこつけて襟の正され申候

大正八年六月吉日

鏡花
謹識

枕をとゞけて先女今日も薄の姉様来
こまひしに又様はなぜいつもの様にお遣
ひなさまといへば俊穂頭を持て流石
よ今の言ふ事は無毒なりしとまもとり

国立国会図書館

枕を上げて、先女今日も薄の姉様来
こまひしに又様はなぜいつをの様にお遭
ひなさまといへば俊禧頭を拵で流石
よ今の言ふは氣毒なりしまもとり
こましきの事を根に持つまあらざるを
あの女は邪推ものわりさりながら怒り
てゆりさりとあまざは其後に棄置け。
先女茶を煎ぬりといへば、あのお子不敵と
覚さば、その人無の曲打を開き一口なりと
召上りこまはぐ念乳面きてどもほど
弄びこまふか知まず心に知けて此我
ものゆく此打まも及びしるを其後積重

ねまをつけて今に戻してくまるなどと
さり頑固はおほやうまぬあなりやめては
えなりと召上り甘しと一言ぎを抑取
ゆきてあのお子にゆり申しとし

ゆきをつけて今に戻してくるなどと
さる頑固はみほやらもぬもあるりやめては
えるりと言より甘しと一言を和取
次まてあのお子にあゆり申しとし
いでは一る席をいくなさまどさほどの志なれば
浪にて下さし。恐れ所入て甘りなきものなり
おて来よと呑々落ちの木太夫もの
偉大夫を其姿にあらず其名にあら
ず其姑にはつゐに祝らぎかりや
[illegible]さすてしく一刻自分一人して
[illegible]さるは食ひぬ。
明日学校より帰れば私に一通の書籍

あり。人の学なきを蹟こゝも数十人
の朋友中これほどの能書はなきなぐ
と裏書を入まれば神角龍字とあるを
[illegible]訝りながら封切りて見めば

国立国会図書館　タイトル『此ぬし』　請求記号 WA22-2

29

寝させねば食しもせぬ。

明日学校より帰りなば私に一通の書翰

より。大學生なきは讀ませる數十人

の朋友中これほどの能書はなきゆゑ

と表書をして[illegible]

[illegible]許りなれど、封切りて讀めば、

最初に信次の病氣を尋ね、[illegible]時

は[illegible]に知らせば保養大事に

[illegible]を認め、又ば半より昨日は寄宿

に[illegible]不致[illegible]

を悔いて[illegible]の事なり。

[illegible]我首なる[illegible]

[illegible]昨日曉[illegible]

是非は思ひ立つまでの事、信次の病氣

30

[illegible]の

氣づかはしければ、[illegible]微衷を[illegible]せし事

を思ひつき[illegible]不勝なが

ら[illegible]紙ながらこまごまと[illegible]

国立国会図書館　タイトル『此ぬし』　請求記号 WA22-2

をいかもし書きもすべきに一通りの
病気をも尺牘ぬに扇の入るべきにて仕方。

初は夫婦次の怪我は重く尺たるか其は
気毒なり いくぐる苦労さしても夫女を
呼びこの旨を語り老母薄へ行て怪な
重病さるは
は必死すべきなれば気毒の必配
やもよといふて来たらしめるは私気る
に雑作はなれども生面の亦用あり
気なに気なるは暴立ちて貴めの子の
為に家内の手前不都合もあるべきは
世方よりも臣手紙にて返事しなるに
がらしといふ後一理ある別と後稿
女子なれば能書の返事に代書頼
みもすべき大無量の上に折から暑夜

書きくれども左なるし磨る面
倒しと唾液まじりの為に書
の心なり数気なるき挨拶一通りの文面に
汗を取しけるに其夜の九時る事

国立国会図書館　タイトル『此ぬし』 請求記号 WA22-2

[illegible]

ざいだ して、はぢみ はな

大事[illegible]肌身を離さずと

はぢみ はぢみ はな

あり。肌身！肌身を離さずとあり

けり。

国立国会図書館　タイトル『此ぬし』 請求記号 WA22-2

登徒子好色賦 并序

宋玉

大夫登徒子侍於楚襄王。短宋玉曰。玉爲人。體貌閑麗。口多微辭。又性好色。願王勿與出入後宮。王以登徒子之言問於宋玉。玉曰。體貌閑麗。所受於天也。口多微辭。所學於師也。至於好色。臣無有也。王曰。子不好色。亦有說乎。有說則止。無說則退。玉曰。天下之佳人。莫若楚國。楚國之麗者。莫若臣里。臣里之美者。莫若臣東家之子。臣東家之子。增之一分則太長。減之一分則太短。著粉則太白。施朱則太赤。眉如翠羽。肌如白雪。腰如束素。齒如含貝。嫣然一笑。惑陽城。迷下蔡。然此女登牆闚臣三年。至今未許也。登徒子則不然。其妻蓬頭攣耳。齞脣歷齒。旁行蝺僂。又疥且痔。登徒子悅之。使有五子。王熟

国立国会図書館 タイトル『此ぬし』 請求記号 WA22-2